

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	02	01	09	0401	地域協議会・地域自治推進委員会運営事業		
総合計画	分野	地域づくり					
	政策	4-1	地域主体のまちづくり				
	施策	1	地域づくりへの参加促進				
目的	各種計画の審議及び地域課題の検討						
対象	東和地域協議会						
意図	住民意見を市政運営に反映するとともに、地域課題の検討を通じ解決に向けた活動が活発化し、市政への参画意識が高まる。						
事業概要							
○東和地域協議会の開催 3回（うち自主開催（地域課題の検討）3回）							
市民参画の有無 [ 対象外 ]							
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① 諮問等による開催	回		計画	4	4		
			実績	5			
② 自主開催	回		計画	4	2		
			実績	1	3		
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① 答申の回数	回		目標	2	4		
			実績	2			
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市からの諮問は特になく、諮問等による開催はゼロとなった。 自主開催は、市の「人口減少対策に係る中間報告」が公表されたため、内容の説明等をいただき、検討した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	条例により設置している当地域における唯一の公的な諮問機関であり、市が関与することは妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある 向上余地がない	地域に密接にかかわる課題について積極的に意見を伺い、出された意見を生かすように努めることで成果の向上が図られることから、会議における積極的な意見の提案と、議論を深めることにより成果の向上が図られる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	委員報酬および事務費は必要最小限の額である。コスト抑制の方策としては、現行どおり事前に資料を送付し、会議の場での説明を必要最小限にとどめ、議論の時間を多くすることで、1回の開催で答申案をまとめていただくよう工夫する。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	諮問の分野を特定しない委員会であることから、重要な計画案件は全て諮問することができ、受益の機会は均等である。また委員の選任に当たっては、各種団体からの推薦や要綱に基づく公募等により公平性を保っている。
総合評価		
有効性については向上余地があるが、概ね妥当である。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 東和総合支所 課名 地域振興課 担当係長 佐藤 健 内線 9-40-312  
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	09	0401	地域協議会・地域自治推進委員会運営事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			3		3
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		3		3

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標

事業開始の背景・経緯

合併の協定項目として、旧 3 町に地域協議会、旧花巻市には自治推進委員会を設置し、市の重要な計画の決定や変更について意見を聞くこととされた。

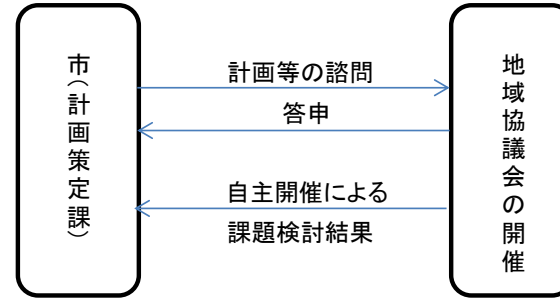
事業概要

○東和地域協議会の開催 3回（うち自主開催（地域課題の検討）3回）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市民参画の1つの方法として、計画策定を予定している課などに委員会の存在を周知し、積極的に諮問してもらうよう働きかける必要がある。

《事業手法の詳細》



事業費

1節 報酬0千円(予算240千円)  
地域協議会委員 4,000円×15名×0回

11節 需用費3千円(予算10千円)  
消耗品費 資料用紙等 2,160円

現委員の委員構成 定員15名以内  
(任期：平成26年6月5日～平成28年6月4日)

1	東和地域区長会会長	第1号委員 公共の団体から推薦された者
2	東和地域区長会副会長	
3	東和東部地区コミュニティ会議会長	
4	田瀬地域コミュニティ会議会長	
5	花巻商工会議所東和支部副会長	
6	東和町体育協会副会長	
7	花巻市社会福祉協議会東和支部副支部長	
8	花巻農業協同組合女性部花巻地域支部東和支部部長	
9	東和地域交通安全母の会会長	第2号委員 学識経験を有する者
10	田瀬地域生涯学習推進委員会委員長	
11	花巻商工会議所青年部東和ブロック副会長	
12	花巻商工会議所青年部直前会長	
13	東和中学校PTA会員	第3号委員 公募による者
14	東和小学校PTA会員	
15	公募委員	